

受付日	23.6.23	施設コード	13-52	業種	32	採用枠	留学生	障がい	担当者	目々澤
-----	---------	-------	-------	----	----	-----	-----	-----	-----	-----

求人票

病院名	医療法人社団 巨樹の会 蒲田リハビリテーション病院			院長名	前原 正明
所在地	〒143-0015 東京都大田区大森西4丁目14-5 TEL (03)5767-7100 FAX (03)5767-7107 E-mail:rehabili@kamata-rh.net				
施設基準	回復期リハビリテーション病棟入院料1 脳血管疾患等リハビリ(I) 運動器リハビリ(I)	病床数	180床		
最寄り駅	京浜急行線 大森町駅より徒歩10分 JR線 蒲田駅より徒歩20分	勤務時間	早出 : 7時00分より15時30分まで 日勤 : 8時30分より17時00分まで 遅出1: 10時30分より19時00分まで 遅出2: 12時30分より21時00分まで		
関連施設	関東地区:○原宿リハビリテーション病院 ○蒲田リハビリテーション病院 ○五反田リハビリテーション病院 ○赤羽リハビリテーション病院 ○小金井リハビリテーション病院 ○明生リハビリテーション病院 ○松戸リハビリテーション病院 ○千葉みなとリハビリテーション病院 ○八千代リハビリテーション病院 ○みどり野リハビリテーション病院 ○宇都宮リハビリテーション病院 ○新上三川病院 ○所沢明生病院 ○新久喜総合病院 ○江東リハビリテーション病院 ○東京品川病院 ○狭山中央病院 ○新宇都宮リハビリテーション病院 九州・山口地区:○福岡和白病院 ○新小文字病院 ○新行橋病院 ○福岡新水巻病院 ○新武雄病院 ○下関リハビリテーション病院 ○香椎丘リハビリテーション病院				
リハビリに関する概要	退院後の生活に視点を置いて、病棟ADLを中心とした積極的な生活リハビリテーションを行い、患者様の在宅復帰、社会復帰をサポートしていきます。また、退院後は外来リハビリテーション、協力施設の在宅部門(通所介護・訪問リハビリ・居宅支援事業等)等と連携して、フォローしていきます。				
その他	独自の勉強会や研修会を豊富に開き、また、他の学会、研修会にも積極的に参加できるような体制作りを行なっていきます。 医療施設から地域へと連続した支援体制の確立を目指しています。				
求人数	理学療法士 10名 作業療法士 10名 言語聴覚士 3名				
給 与 等	基本給	155,000(新卒者初任給)			
	資格手当	10,000			
	調整手当	48,600			
	職務手当	30,000			
	合計	243,600			
	住宅手当	30,000			
	交通費	実費(30,000円を上限とする)			
	定期昇給	年1回			
	賞与	4. 2ヶ月(基本給) (7, 12, 3月)			
	経験加算	30,000(3年目より支給)			
応募書類		休日		宿舍等	
1. 履歴書 2. 卒業見込み証明書 3. 成績証明書		4週8休 夏季・冬季休暇他あり 年次休暇:初年度10日		空室あれば入居可能 (要相談)	
提出期間 / 事前送付 もしくは 面接日持参					
選考方法	面接(試験日設定) ※見学・試験は随時受け入れていきます。 リモート(zoom)での病院案内も可能です。まずは下記へ連絡をください。				
問い合わせ(求人担当者)	(03)5767-7100 もしくは E-mail:rehabili@kamata-rh.net までご連絡下さい。 蒲田リハビリテーション病院 リハビリテーション科 : 松本 宗一郎				

病床数 : 180床

(全病棟回復期リハビリテーション病棟)

診療科目 : リハビリテーション科

院長 : 前原 正明 (心臓血管外科)

住所 : 東京都大田区大森西4丁目14番5号

施設基準 : 回復期リハビリテーション

病棟入院料1

脳血管疾患(I),運動器疾患(I)

廃用症候群(I)

<令和4年度実績>

提供単位数: 7.62単位 (全国平均:6.55単位)

在宅復帰率: 95.4%(全国平均:77.9%)

自宅復帰率: 84.5%(全国平均:66.0%)

疾患別割合:脳血管疾患 45.9 %

運動器疾患 41.0 %

廃用症候群・その他 13.1 %

<リハビリテーション科の特徴>

1.生活密着型早出・運出体制

2.チーム制(階別担当制)

3.充実した新人教育

○プリセプター制

担当指導者が指導者が教育・指導

○新人勉強会

リスク管理・基礎勉強会・接遇研修・実技指導

4.回復期以外の分野も経験可能

○外来・訪問・地域

5.年間を通して多くの勉強会開催

○内部勉強会・外部講師講習会・地域勉強会

グループ26病院 総病床数4,223床のノウハウを生かしたリハビリテーション

○365日(土日祭日、お盆やお正月)のリハビリ実施

○最大3時間(9単位)/日のリハビリ実施

○リハビリ訓練室での「出来るADL」と、病棟での「しているADL」の一致

<患者様の生活場面に応じたリハビリを行います>



<屋内だけでなく社会に復帰する為の屋外リハビリ環境を作ってます>



<病院内・リハ科の取り組み>

1.離床活動

○積極的な離床促進に対する関わり
(調理・wii・脳トレ・自主訓練 etc)

2.健康教室

○業者を交えた患者教育 etc

3.専門的なチームによる関わり

○NST・褥瘡・シーディング etc

4.学会参加・研究発表の推奨

○環境・費用面のサポート体制も充実

<研修制度>

1.グループ病院のメリットを生かした

各年代に合わせた研修制度

○中央研修

○海外研修

(アメリカ/ドイツ/デンマークetc)

<福利厚生>

1.院内旅行

(国内・海外・日帰り)

2.全国にある保養所やホテル、

スポーツ施設の利用が可能

～ 理学療法 ～

<1. 心身機能・身体構造に対する機能訓練>

- 徒手療法
- 物理療法
- 装具療法
- 器具療法
- 1. 長・短下肢装具を利用した歩行訓練
- 2. オールインワンを利用した介助歩行等
- リハビリ時間以外での自主トレーニングの推奨
- その他(wiiを利用したバランス訓練等)

<2. 生活場面に活かす動作訓練>

- 病棟や院内で他部署と協力し、積極的な歩行介入
- 早出・遅出時間帯での動作訓練(歩行、排泄、更衣動作etc)

<3. 退院後の生活を想定した活動訓練>

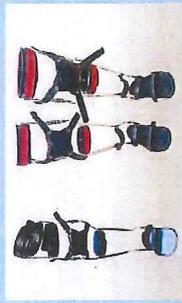
- 家屋調査
- 外出訓練
- 1. バスや電車などの公共交通機関の利用
- 2. 復職を想定した通勤訓練
- 自転車の走行訓練
- 他病院と連携したドライブシミュレーター訓練

<4. 専門チーム>

- 装具チーム
- 栄養サポートチーム(NST)
- シーティングチーム
- 心臓チーム

<5. 総合事業: 地域>

- 健康講話・体力測定



<院内の豊富な勉強会>

- 物療勉強会
- 装具勉強会
- マシン・機器勉強会
- 外部講師勉強会
- (著名な講師を招いて年間複数回実施)

<学会発表>

- 日本理学療法学会
- 関東甲信越ブロック理学療法士学会等
- 多くの学会に積極的に参加**

院内教育の充実

- <スタッフ内訳>
- 92名(男性:55名 女性:37名)
- 平均年齢:28.6歳



- <実務経験年数>
- 8年以上:34名
- 5~7年目:15名
- 3~4年目:18名
- 1~2年目:25名

若いスタッフも多く在籍

各対象者に合わせた関わりと取り組み

スタッフ関連

～作業療法～

<各対象者に合わせた関わりと取り組み>

- 1.ADL
 - 早出・遅出を利用した実生活に介入
 - 大浴場の利用(日中・夜間)
 - 自助具の作成
- 2.IADL
 - 1日分の(3食)調理
 - 家族と一緒に家事動作
 - 栄養士からの栄養・調理指導
 - 自宅で家事動作・買い物訓練
- 3.復職や家庭内役割
 - 職場訪問
 - 屋上庭園での栽培
 - 仮技能訓練(大工:本棚)
- 4.趣味や参加機会
 - 夜間の歩行
 - 化粧
 - 趣味活動
(ピアノ・写真撮影 等)

対象者の必要性や意味のある作業に対する介入

- ### <地域との取り組み>
- 1.復職支援
 - 近隣施設と復職に向けた関わり
 - 職場への訪問・動作指導
 - 2.大田区高次脳機能障害者連絡会
 - 高次脳機能障害に対する支援施設・サービスの紹介
 - 3.近隣大学との共同研究
 - 上肢訓練機器使用における効果
 - 4.運転支援(ドライブシミュレーター)
 - 5.美容学校と連携した化粧療法
 - 化粧の実践
 - 6.総合事業
 - 地域住民の銭湯利用にむけて
 - 地域ケア会議

院内における多様な取り組み

<OT独自の勉強会>

- 院内勉強会
 - 高次脳機能評価と解釈
 - 外部講師勉強会
(MOHO・自動車運転 等)
 - 生活行為向上マネジメント履修推奨
 - IVES導入
- <学会発表>
- 日本作業療法学会 等
 - 日本作業行動学会 等



多くの学会に積極的に参加

院内教育の充実

- ### <スタッフ内訳>
- 59名(男性:28名 女性:31名)
 - 平均年齢:27.8歳

- ### <実務経験年数>
- 10年目以上:6名
 - 6~9年目:16名
 - 3~5年目:23名
 - 1~2年目:14名

若いスタッフも多く在籍

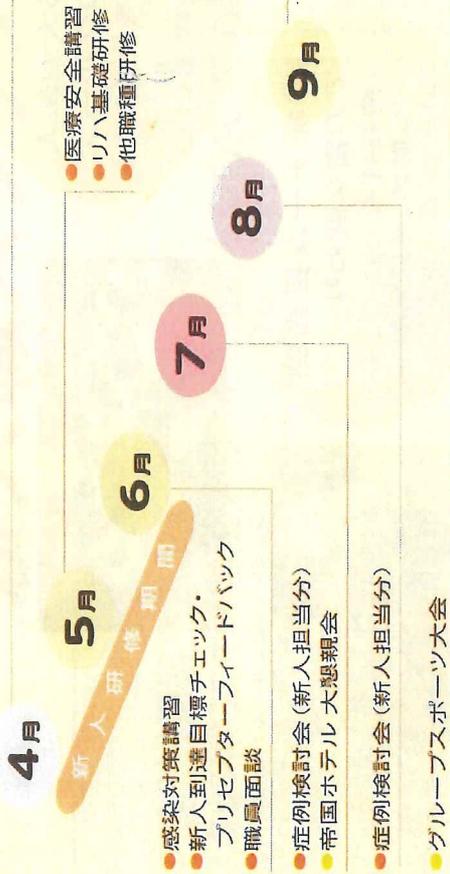


スタッフ関連

新人教育年間スケジュール

*リハ科勉強会(1~2回/月)、各チーム症例検討会(1回/月)、グループ・院内講演会(1~2回/月)等が随時あり
 *業務時間外の勉強会、各種イベント活動等はいずれも任意参加

※はイベント



●グループ合同学術研究会

10月

●職員面談
 ●院内旅行
 (3~4か月に渡って10コース程度)

11月

12月

1月

2月

●新年会(病院全体)

3月

●業務到達度チェック・プリセプターおよび役職者フィードバック

Career Up

当施設でのキャリアアロードマップ

- 6年以上**
 - 地域における病院の役割を理解し、外部との調整や活動を行う
- 4・5年目**
 - リハ科内のチームにおいてリーダーシップを発揮する
 - チームのリーダーとして他部署との調整を行う
- 3年目**
 - チーム医療の中で、リハ専門職種として中心的な役割を果たす
 - 自己研鑽を深め、後輩に対する指導・助言を積極的に行う
- 2年目**
 - 知識・技術の研鑽に努め、職業人としての能力向上を図る
 - チーム医療における自己の役割を果たし、後輩に対して指導・助言をする
- 1年目**
 - 職業人として、社会人として規律を守り、協調して業務を遂行する
 - 基本的なリハビリテーション医療の知識・技術を身につける



※写真は小金井リハビリテーション病院

当グループリハビリテーション科の特徴

開放的なリハ室



カンファレンス



歴史のある大型法人
ならではのグループ
のノウハウを生かした
病院づくり

シミュレーションルーム



病棟チーム担当制
での密な関わり
(情報共有、カンファレンス、回診、合同勉強会等)

恵まれたハード

(患者様の療養環境を
考えた設計・デザイン)

応用動作訓練



積極的な屋外リハ
活動、応用的活動、
訪問家屋調査、
ご家族への関わり

充実した教育制度

(入職時研修・経験に
合わせたスキルアップ
研修・外部講師講演会・
症例検討会 等)

超急性期から在宅
までをつなぐ連携意識
(営業活動及び退院後
のケア・地域との関わり)

365日リハを
行える体制

離床活動(病棟活動)
等で不必要な安静
を排除すべく全職種
で協力して活動

1日最大3時間、1日
複数回のリハ提供

屋外活動訓練



屋外でのリハ

離床活動



露天風呂

新入職スタッフからのコメント

PT:女性(福岡県出身)

「スタッフの方々の雰囲気の良いさと患者さんの笑顔の数がすごく多いと感じたからです。」

OT:女性(茨城県出身)

「人数が多く教育制度もあり、他職種間・患者様とスタッフ間の雰囲気がよかったです。」

ST:女性(神奈川県出身)

「STの人数が多く、心強いと思ったからです。」

入職した動機

OT:男性(東京都出身)

「知識・技術共に身に付けつつ、業務も早く覚えて、1スタッフとして積極的に行動していきたいです。」

ST:女性(群馬県出身)

「早く業務を覚えて、患者様の気持ちに寄り添うことができるように精一杯努力していきたいです」

今後の目標

PT:男性(福岡県出身)

「先輩やプリセプター(担当指導者)とも気軽に報告・連絡・相談が出来るので働きやすいです。」

OT:男性(神奈川県出身)

「先輩と相談等話しやすい環境で、入職できて良かったです。」

ST:女性(宮城県出身)

「雰囲気が明るく、職種関係なく困っていると声をかけてもらえるので、とても働きやすいです」

入職してみても

